

2026 年 1 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社 東 京 衡 機  
代 表 者 代表取締役社長 小塚 英一郎  
(コード番号 7719 東証スタンダード)

## 東京大学とドローン性能計測技術の共同研究を開始

～バーチャル空間における高精度モデル開発・認証の実現に向けて～

当社グループ会社の(株)先端力学シミュレーション研究所（以下 ASTOM R&D 社）は、学校法人東京大学と共同で、バーチャル空間における高精度なモデル開発・認証の実現に向けた共同研究開発を開始しました。

本共同研究は、ドローン性能計測システムやドローンシミュレーターを開発し、性能試験からモデル化、認証支援までを見据えた新たな測定ソリューションを目指すものです。これによって、ドローン開発の効率化・柔軟化（フロントローディングによる問題の早期発見）、認証コストの低減などのバーチャルエンジニアリングが可能となります。



近年、物流、点検、防災の次世代空モビリティ分野においてドローンの活用が急速に拡大する一方で、安全性および信頼性を担保するための性能評価・認証環境の整備が大きな課題となっています。こうした背景のもと、本共同研究では、ASTOM R&D 社の有するシミュレーション・解析技術と、東京大学の学術的知見を融合させることで、ドローン性能評価技術の高度化を図りま

す。同社は、東京大学との共同で得られる成果を活かし、様々な事業展開を計画しています。

- ・ドローンテストベンチおよび関連ソフトウェアについて、国内での展開を進めるとともに、ベースとなるソフトウェアのさらなる開発
- ・ドローンテストベンチを用いた出荷前の動作検証が採用されることを目指し、ハードウェアおよびソフトウェアの保守を中心とした運用
- ・FFT GYRO（Eureka Dynamics S.A.P.I. de C.V.のドローンテストベンチ）を標準的なドローンテストベンチとして確立することを目指し、国内生産およびサポート体制の構築

(株)東京衡機は、本件に関して戦略的投資を行いました。

当社グループは、次世代空モビリティ分野における安全性・信頼性の基盤を支える「試験・シミュレーション」を提供する企業を目指してまいります。ASTOM R&D 社は今後も Eureka Dynamics との協力体制を強化し、空モビリティ産業における技術イノベーションと顧客価値の向上に貢献してまいります。

以 上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社東京衡機 管理部 I R 担当 (TEL 050-3529-6502)